令和２年度シラバス　　現代社会　　学番３７　　新潟県立長岡工業高等学校

教科(科目)	公民（現代社会）	単位数	２単位
科・コース	３学年（工業科全学科）	学年	３年
使用教科書	実教出版　最新『現代社会』　新訂版		
副教材等	実教出版　最新現代社会新訂版　演習ノート		

１．学習の到達目標

中学「公民」での学習の復習もしながら、現代社会を政治・経済･社会・文化・環境問題・道徳倫理など多方面から探求し､現代社会の全体像を客観的に把握し、また、現代社会のあるべき姿とそこに生きる人間のあり方を考えられる態度を育て、複雑多様で変化も大きい現代社会において、他に流されることなく、主体的に生き、民主的・平和的な国家社会の有為な形成者の１人となりうる力を育てる。

２．指導の重点

①教科書にでている基本的な用語をしっかりと理解させる。
②基本的な知識を踏まえたうえで、現代社会の実態がどうなっているかを考察できる力を身につけられるようにする。

現代社会の中身は政治経済の分野、倫理の分野、環境問題の分野に大きく３つに分かれ、それぞれ現実の社会の姿とその問題点を探求できるようになっているので、資料集や実際の出来事を随時活用するようにする。時間に余裕があれば、生徒たちに討論もさせてみたい。

３．学習計画（内容･時期）

月	単元名・教材	主な学習領域	学習活動(指導内容)	時間
4・5月	第１部 第１章～第３章 教材：教科書等	○わたしたちの生きる社会	・現代社会の主な諸問題について学習する。 （地球環境問題、資源エネルギー問題、生命科学と情報技術の課題）	１３
6・7月	第２部 １　青年期と自己の形成 第１章～第３章 教材：教科書等	○自分らしく生きる ○人間としてよく生きる ○日本人としての自覚	・青年期について、基本的知識を学ぶとともに、多面的に探求する。また、自分の問題として受け止めさせる。 ・宗教・芸術の意味について学ぶ。 ・代表的な哲学・科学思想・宗教についての基礎知識を学ぶ。 ・日本の宗教・思想の展開。	１３
9・10月	第２部 ２　現代の民主政治と日本国憲法 第１章～第３章 教材：教科書等	○現代国家と民主政治 ○日本国憲法の基本的性格 ○日本の政治機構と政治参加	・現代の政治状況を把握しつつ、政治の基本知識を学習する。 ・民主政治の基本原理、世界の主な政治制度、日本国憲法の制定・人権規定、平和主義と防衛問題、国会・内閣・裁判所、選挙制度、政党と世論、地方自治などについて学ぶ。	１３

11 ・ 12 月	第２部 ３　現代の経済社会と国民政治 第１章・第２章 教材：教科書等	○現代の経済社会 ○日本経済の特質と国民生活	・現代の経済状況を把握しつつ、経済の基本知識を学習する。（新聞の記事も利用する） ・現代の企業、市場の仕組み、景気変動、金融機関の働き、財政と租税、今日の金融・財政問題、産業構造の変化、消費者問題、労働問題などについて学ぶ。	１３
１ ・ ２ 月	第２部 ４　国際社会と人類の課題 共に生きる社会をめざして 教材：教科書等	○国際政治の変化 ○国際経済の動向と国際協力 ○共に生きる社会をめざして	・現在の国際政治の状況を把握しつつ、主権や国際政治などの諸問題を学ぶ。 ・現代の経済状況を把握しつつ、貿易や為替などの国際経済の基本知識を学習する。 ・多文化共生社会を実現させるために必要な個人の在り方生き方について考察を深める。	１８

計 70 時間(50 分授業)

４．評価規準と評価方法

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価の規準	現代社会への興味関心を持って生活しようとしている。	現代社会の実態から、そこに存在する課題を自分なりに見つけだし、適切な意見をもつことができる。	現代社会の実態を新聞やインターネットなどの情報から、また教科書の表やグラフから読み取れている。	現代社会の事象や課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・学習活動への取り組み ・小テスト ・定期考査 ・課題の提出状況	・学習活動への取り組み ・小テスト ・定期考査 ・課題の提出状況	・学習活動への取り組み ・小テスト ・定期考査 ・課題の提出状況	・学習活動への取り組み ・小テスト ・定期考査 ・課題の提出状況

５．担当者からの一言

『現代社会』には地歴・公民科の基礎的事項が多く含まれているので、中学校で習ったことを思い出しながら、基本的な知識（用語）をしっかり理解し覚えるとともに、現在の社会に関心を持ち、日常的に考える態度を持ってほしい。